

夫婦の 笑顔咲く 隠れ家



半田 正樹

HANDA Masaki

株式会社農業経営支援センター
代表取締役

3月の早春、レンギョウの黄色い花が山にあふれ、夏には川をわたる心地よい風の中に、カジカガエルの優しい鳴き声が聞こえます。

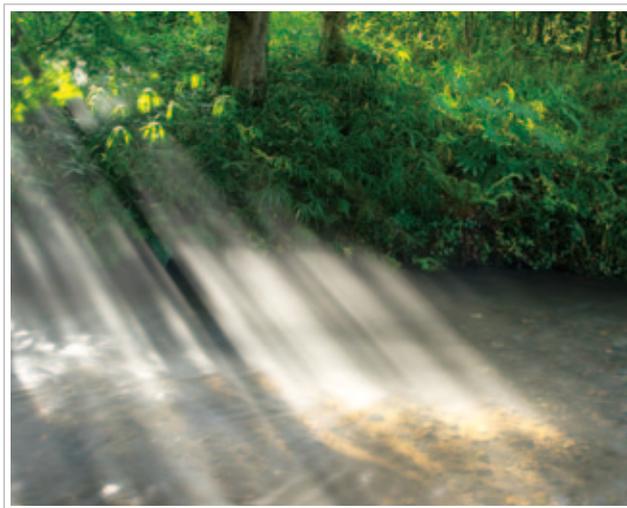
福岡県宮若市の奥深い山の中にあるその農家は、私と、酒をこよなく愛する友人が、世知辛い日常に煮詰まってきたときにお邪魔する、隠れ家のようなところです。

風韻のあるご亭主と、いつも笑顔の素敵なお奥様とのお付き合いは、かれこれ20年近くになります。毎回、突然の訪問にもかかわらず、山菜をふんだんに使った奥様手づくりの料理でおもてなしいただき、時の経つのを忘れて四方山の話で盛り上がります。

と言っても、山奥の茅葺屋根の農家というわけではありません。早くに法人化を実現し、鉄筋造りの

広い調整倉庫と2階には事務所を構える、堂々たる農業法人です。桃や桜、榎などの枝もの、タケノコの加工出荷もし、ご息やご令嬢だけでなく、若い従業員も一緒に汗を流しています。

事務所には、十分な広さのベランダがあり、私たちの集会所になります。孟宗竹の中に卵を割り入れ、薪の中に放り込んでおくと、竹の香りがする目玉焼きのできあがりです。これを月の光の中でいただくそ



©清家 道子

初めてお邪魔したときのこと
初をいまでも覚えています。山の中に連れていかれ、周囲を見回しても、私には草や雑木しか目に入らず、「あの、圃場はどのへんにあるんですか？」との間抜けな質問に、「この辺りが全部そうです」

確かに、よく見ると、手入れの行き届いた桃や榎の木があり、足元には熊笹が生い茂っています。「この笹は、一本5円くらいだね」という言葉に、農業の持つ価値を少しでも理解できた気がしたものです。

の時間は、ちょっとこの世のものではないような、貴重なひと時です。

農業にかかわり始めて、20年以上になります。願わくば、この農家のような経営体がこれからも頑張っていける世の中であってほしい。それは農業経営アドバイザーとして、忘れてはならないことであると信じています。

この原稿を書いているうちに、あの風景とご夫婦の笑顔が浮かんできました。また、ちょっとお邪魔できましようか。F

はんだまさき

1953年福岡県生まれ。趣味は、勝てないパチンコと娘(シーズ犬)が機嫌の良いときに遊んでもらうこと。私より税務に詳しい職員に囲まれ、職員に叱られながら日々仕事に励む。九州農業経営アドバイザー連絡協議会会員。



農業経営アドバイザーは農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的的確なアドバイスを実践する専門家です。2005年、農業経営の発展に寄与することを目的に日本公庫が資格制度を創設しました。本コーナーは、上級資格である上級農業経営アドバイザーが執筆します。